

船橋市国際交流協会

# 高校生海外研修派遣事業

2019

<日程>

令和元(2019)年7月20日(土)～28日(日)

<派遣者>

有田 彩音 鵜飼 ひかる 江草 愛菜 小田原 英世 白石 亜実  
富永 そら 鳥光 巴那 西村 実莉 浜口 颯太 林 千紗季 (50音順)

<随行者>

アライジャ フランコ

<構成>

- ・カリキュラム
- ・グループレポート (1,3,4,5,6,7,8日目)
- ・個人レポート (2日目)
- ・協賛者一覧

## Funabashi (July 20 to July 27)

	Sat 7/20	Sun 7/21	Mon7/22	Tue 7/23	Wed 7/24	Thurs 7/25	Fri 7/26	Sat 7/27
8:00am		Host Family	Host Family	Host Family	Host Family	Host Family	Host Family	Host Family
9:00am		Host families Activity	meet in SF 102 Campus Tour	Conversational English	American Culture	Conversational English		Airport Dropoff
10:00am			University Resources, student conduct and Curriculum					
11:00am	Airport Pickup			Lunch	Lunch	Lunch	Golden Gate Bridge, Pier 39 & Fish Wharf	
12:00pm				Lunch	Lunch	Lunch		
1:00 PM								
2:00pm	Arrive on campus and meet host family		Seminar on University education in the USA	San Francisco visit Japanese Consulate at 2:00pm via BART	Hayward Downtown, City Hall visit Mayor and Hayward Museum Tour	Silicon Valley		
3:00PM		Shop at CSUEB bookstore						
4:00pm								
5:15pm		Host family	Host Family	Host Family	Host Family	Host Family	Host Family	



# ハイワード海外研修レポート

## 1日目



**東葉高校 2年 鳥光巴那**

## ハイワード海外研修 1日目

### 1 成田空港集合

2時30分に成田空港第2ターミナルに集合。10人のメンバーそれぞれまだお互いのことをよく知らない上、海外に向かう緊張で気持ちが引き締まる感覚がした。集合したのち、チケットを機械で発行。トランクを預けると集合写真を撮影し、早めに荷物検査を済ませ家族を離れた。免税店が並ぶ場所で男女に別れて行動。女子はコンビニで飲み物を購入する人がいた。



まだフライトまで時間が余っていたので搭乗口のベンチに座る。会話が続き、気まずい雰囲気になっていたが、お互い改めて自己紹介を行い、そこから会話が弾むように。人狼ゲームや写真を撮るなどして時間をつぶした。

飛行機に搭乗。それぞれ席に着くと海外に向かう実感から気持ちが高ぶった。フライトは約9時間半。自分は持参した音楽プレーヤーで音楽を聴きながら寝て過ごした。他のメンバーは映画を観ていた。

離陸後すぐに軽食としていろいろな味の小さいせんべいが入った菓子が出された。1回目の機内食はチキンカレー、2回目は焼きそば。日本食なのでおいしく食べることができた。

### 2 サンフランシスコ空港到着

到着すると成田空港と同様機械で顔写真を撮影などの作業をしてチケットを発行。それを持って入国審査を行った。自分は目的を聞かれ、観光と返すと、どこに観光に行くのかと聞かれハイワードと返す。ハイワードのどこに観光に行くのかと聞かれ、いろいろとこじれそうだったので素直にホームステイと答えるとすんなり通った。質問が終わると指紋認証を行い、トランクをとった。税関の紙を使わなかったのが疑問だった。全員が集合したのち、空港の駐車場に向かうと外は肌寒い程度で日差しがまぶしかった。黒い小さなバスが用意されており、トランクを詰め込んで乗車。そこからハイワードのイーストベイ大学に30分

ほどかけて向かった。バスからの景色がとてもきれいだった。サンフランシスコからハイワードに渡る際はベイブリッジを使った。海を渡るとき景色が一番頭に残っている。また車道の幅の広さやセブンイレブンの多さに驚いた。バス内で写真を撮った。



### 3 イーストベイ大学到着

到着すると広いキャンパスを見回した。そこで日本人の原田さんとホストファミリーの組み合わせを考えてくれたフィアさんにあいさつ。しばらくしてそれぞれのホストファミリーが到着。有田さんとともに車でホストファミリー宅に向かう。その前にスーパーに寄った。自分は海外でしか買えない好きなお菓子とジュースを買ってもらった。車内ではホストマザーの Julie とまだ何を話したら良いのかいまいちわからなかったが、自分の買ったものに関して会話が弾んだ。

### 4 音楽フェス



ホストファミリー宅に到着すると自分の部屋に案内され、荷物を整理。家の広さに驚いた。キッチンに向かうとホストファザーの Joe と同じく留学生の日本人の統太にあいさつ。庭を散策したり、買ったジュースを飲んだりしていると公園で音楽フェスがあるので親戚と行くことになった。車で向かったのは親戚の家。そこで5歳の女の子の June に会った。とてもかわいくておしゃべりな子だった。またそこには大きなプールがあったり、さまざまな楽器がおいてあったりと日本の家との違いに圧倒された。そこでしばらく親戚たちと会話。そこから歩きで公園に向かった。公園には多くの人っていて、真ん中にはバンドが演奏していた。アジア圏の人が少なく、白人が多かった。とても盛り上がっていて、音楽に合わせて踊っている人や歌う人がいて、日本にはない雰囲気だった。軽くサンドイッチを食べた後、お父さんと公園をぐるっと一周まわった。周りが裸足で歩いていたので私も裸足で歩いた。公園にはアスレチックや池があった。小さ

い子供もたくさんいた。統太が June と踊っていて私も参加したかったが、フライトの疲れで有田さんとともにレジャーシートの上で静かに音楽を聴いていた。夜の 8 時までそこでフェスを楽しんだ後、June や親戚とお別れ。



ホストファミリー宅に車で戻った。車内で有田さんは疲れて眠ってしまった。私は車内で流れている Jackson 5 の『I'll be there』を聴きながら帰った。今聴いてもなつかしさから涙が出る。家に到着する直前に野生のシカを見た。部屋に戻ってシャワーと歯磨きを済ませ、そのまま 2 人ともすぐに眠った。盛りだくさんな 1 日だった。

## 1 週間を通しての感想

自分はカナダに 2 回留学しており、どちらとも 2 週間のプログラムだった。しかし今回の留学は 1 週間と短いのに関わらず、今までで一番充実したものになった。英語を話す量は圧倒的に増え、いろいろチャレンジすることもできた。またこの留学を通して自分の進路が増えたと感じる。外交官、領事館の広報班、大学での日本人スタッフなど。大学も海外の方へ進学したいと強く思うようになった。この経験は自分の大きなターニングポイントになったと思う。この経験を無駄にしないようにしたい。

日本に帰ってきてからもホストファミリーと連絡を取り合っている。日本の観光スポットを訪れた際には写真を撮って送っており、向こうも同じように写真を送ってくれる。カナダでのホストファミリーとは今では連絡を取ることができず、今の環境にうれしさを感じる。ここで英語のメールに慣れたいと思う。

最後に自分はこのプロジェクトと一緒に参加したメンバー、面倒事の多い自分を採用してくださった国際交流協会の方々、一緒に渡米してくれた母、費用を出してくれた上、最後まで自分を心配してくれた祖父に感謝したいと思います。これからその恩を返すためにも国際交流事業に積極的に参加していきたいです。

## 3日目 (7/22)

Heyward 研修 3日目



初の EAST BAY!!  
緑に囲まれた学校  
で、のんびりとして  
いました。実はこの  
日はわかりませ  
んが、リスを見る  
ことができました!  
先生方もとてもや  
さしかったです!

この日はオリエンテーションと学校探検をしました! 思っていた何倍も広くてとても驚かされました! 駐車場も、グラウンドも何から何までとにかく広がったです。

学校の中には STARBUCKS COFFEE もあって、買って飲んでいる友だちもいました。

STARBUCKS COFFEE 以外にも、SUBWAY など私達の聞いたことのあるお店もいくつかありました。

お昼ご飯は学校内にある食堂の様な所で食べました。ピザやハンバーガーなど色々な種類のメニューがあり、わたしはずっとスープとサラダばかりを食べていました。

その日一番思い出に残っていたのは、学校の購買でお買い物をしたことです。

学校には購買がいくつかあり、軽く休憩するためのスペースと、お菓子から学校のグッズまでも売っている購買もあり、私は友達と英語の絵本を買いました。

探検している間に大きな椅子もあり、みんなで椅子に乗って、写真も撮りました!

家に帰ってからは夜ご飯を作ってもらいました! チキンに入ったおかゆの様なものでとても美味しかったです。

夜ご飯の後にホストファミリーにスーパーマーケットにつれていってもらいました! 私はお菓子を買ったのですが、とにかく沢山種類があつて、ついつい沢山買ってしまいました、、、

～感想～

まだ HAYWARD の気候などに慣れていなくて、少し体調も良い状態ではなかったのですが、仲間や現地の先生方がとても優しく、色々な面でとても助けられました! 少しだけしか食べられませんでした、味はとても美味しかったです! 学校内が本当に広いので一人だとしばらくは迷子になってしまうのではないかなと思いました。日本の学校にはこんなはないんじゃないかなと思うことも何度かありました。学校内で CHEER READER の方にあえてとても嬉しかったです! CHEER READER の方に話しかけることができなかつたのが少し心残りです。とても素敵な一日でした。

# Day 4 July 23

9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

授業	昼食	BART	日本国 総領事館	観光	BART	
----	----	------	-------------	----	------	--

サンフランシスコ♪

## 4日目 授業

初回の授業は簡単な自己紹介から始まりました。

ドイツ出身の Ms. Smith の丁寧な指導で、日本人には難しい **th**、**R**、**L** などの発音を習得することができました！

その後日常よく使うフレーズをロールプレイング形式で繰り返し練習したときは簡単な表現なのに英語が思い浮かばず、とてももどかしい思いをしました。



この日の最後には

「3 important things in my everyday life」  
というテーマで一人ずつスピーチを行いました。  
3時間“英語のみ”の授業は、集中していたため  
あっという間に感じました。

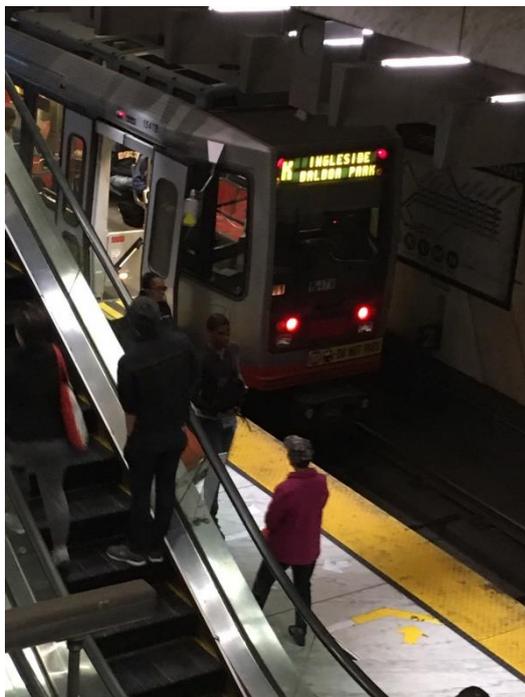


# BART

ヘイワード駅からサンフランシスコや日本国総領事館へ行く時に BART に乗って行きました。

BART とは電車のことで、日本で言う地下鉄のようなものです。

BART の中からは野球場が見えたり、高いところに出ると街が一望できます。



私が BART 乗っていて一番驚いたことは、  
小型のステレオのようなものから大音量で音楽を流し、いきなり踊り始めた人がいたことです。  
私たちの周りに乗っていた人達は平然と見ていたのでよくあることなのかな？と衝撃を受け、  
日本じゃありえない！！と思いました。



# 日本国総領事館

名称を耳にしたことはあっても、

訪れる機会があるとは思っていなかった **総領事館！**

在外公館専門調査員の草清さんと職員のスティーブさんより

最初に大使館と総領事館の違いについて教えて頂きました。

海外に住む日本人のための施設である総領事館が、

アメリカには何と **14** もあると聞き大変驚きました。



次に日本とカリフォルニアの関係について、

スライドを見ながら学びました。

日本とカリフォルニアの間には

100 を超える姉妹都市関係があるそうで

その繋がり**の強さを初めて知りました。**



# サンフランシスコ観光

観光というには短い時間でしたが、みんなで相談して**スターバックス**に立ち寄りました。

校内を含め、滞在中どこへ行ってもスターバックスを多く見掛けたように思います。

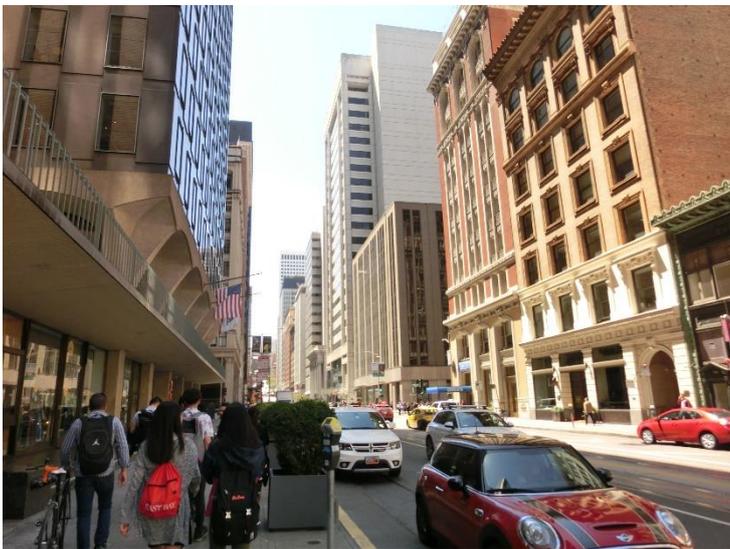
日本でよく利用しているとは言え

海外で自分の英語とお金を使い買い物をする経験は初めてだったので、緊張しました。





日本でも環境問題で話題になっているプラ製ストローは、すでに紙製のものになっていて、強度の弱さはあるものの、環境問題に力を入れているサンフランシスコならではの取り組みだと感じました。



# Day 5 July 24

9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	授業	昼食	バス	ハワード ダウンタウン 観光	市役所	図書館	市役所	バス	

## 5日目 授業

5日目の授業では、語学学校の先生が **Lays** という大きなスナック菓子を持ってきてお菓子パーティーをしながらの授業に♪

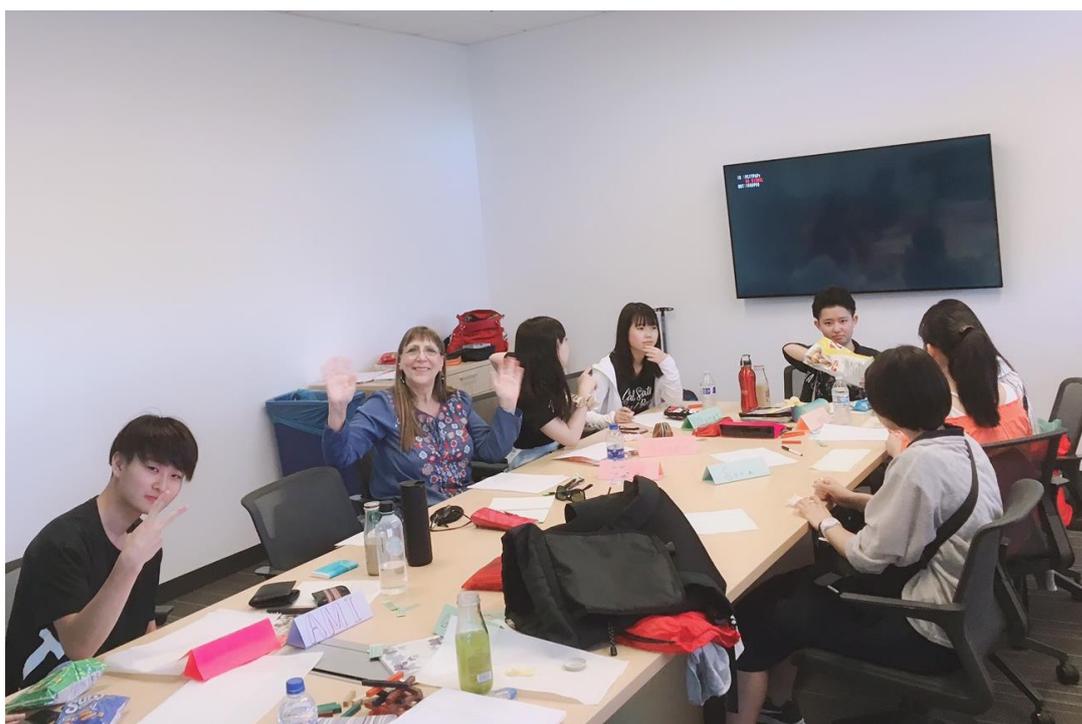
先生の近くにいるメンバーは

お菓子も食べずにまじめに授業を受けていたけれど

遠くに座ったメンバーはお菓子をつまみながら授業を受けました。

日本だったら、お菓子を食べながら授業を受けるなんて

考えられないので本当にびっくりしましたが貴重な経験になりました。



# ハイワードダウンタウン観光

現地で付き添いをして下さったシャダさんにダウンタウンでお勧めのハンバーガーショップ、**Rockit Char Grill** へ連れて行って頂きました。

噂通りの大きさと、一緒に参加した友人とシェアして食べました。

パーティにボリュームがあり、野菜たっぷり、パンはふわふわで、片手で持てない厚みでした。



二手に分かれた別グループは、**ジャンバジュース**というスムージーショップに行ったそうです。どちらも人気店だそうで、本当においしかったです。

ハイワードは過去の大きな地震を経て、現在は高い建物が建てられないことになっているのそうなのですがそのおかげで空が広くどこからも気持ちの良い青空が見られました。また、市のあちらこちらにある壁に描かれた巨大なアートが印象的でした。これらは落書き対策に行っているようで、ユニークで興味深い取り組みだと思いました。



# 市役所



Hayward市役所では、最初に市議会が行われている部屋に通されました。

市の担当者の方から自由に体験して良いと言われたので

議員席に座ってマイクで話してみたり、記念写真を撮りました。

その後 Hayward市長の BARBARA さんが臨席され、 Hayward市の紹介映像を見ながら、

Haywardの環境問題や、これまでの姉妹都市交流についてのお話を伺いました。

図書館見学から戻ってきた後、再び市長室にお招き頂き、

船橋市と Hayward市の交流を示す写真などを見せて頂きました。

帰り際に、船橋市から贈られたという時計を見せてもらい、

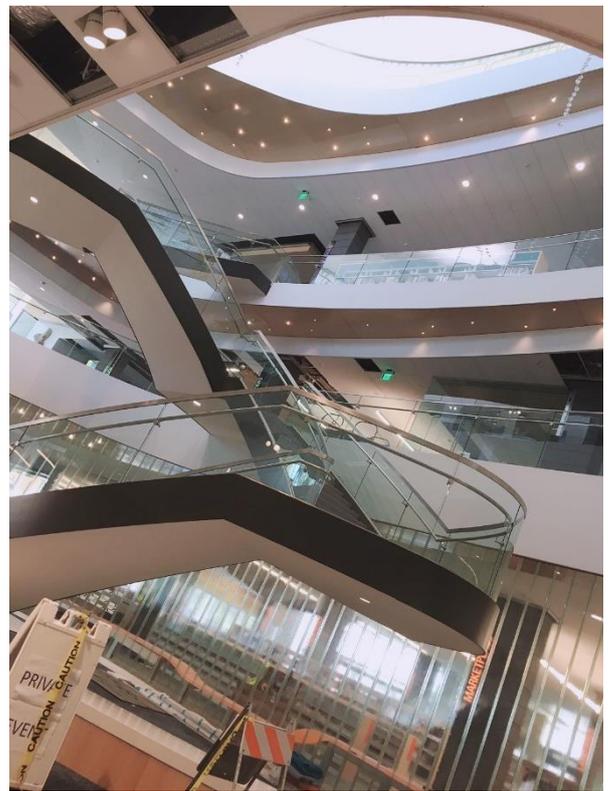
深い交流があるのだと改めて感じる事ができたとともに、

姉妹都市交流の一環として、 Haywardに行くことができたことを幸せに感じました。



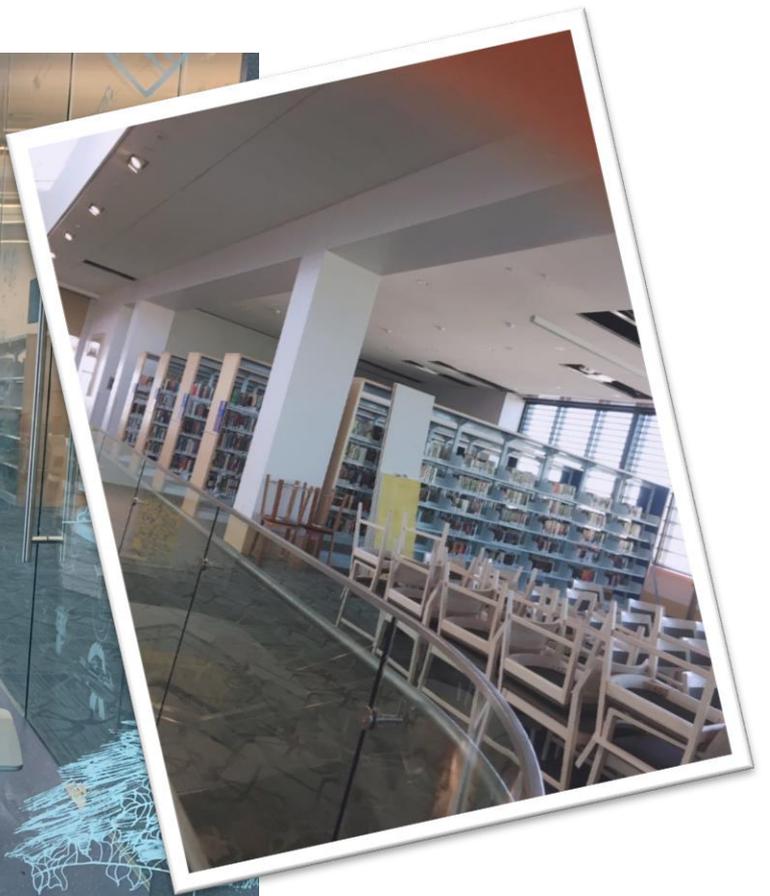
# 図書館

ヘイワード市長を表敬訪問したあと、  
建設中の新しい図書館へ案内して頂きました。  
図書館は外観からすでにオシャレで洗練されていて  
日本とは雰囲気全然違うなと思いました。  
館内1階には 幼稚園児や小学生向けの本が多く、  
夏休みに大学生のボランティアが  
宿題を手伝ってくれる部屋などがあり  
部屋のガラスの壁には、  
地元の小学生が書いた絵がプリントされていました。  
2階は中高生向けで自習室などがあり、閲覧スペースが広く、  
たくさんの方が座って読めるように工夫されていました。  
3階は社会人向けでビジネス書などが置かれていて、会議室などもありました。  
日本にもこのような多様性を持つ図書館を作りたいと思いました。



館内吹き抜けには  
日本人が作成したアート作品が  
ありました！





4日目・5日目担当

有田彩音 浜口颯太 林千紗季

## 6 日目 (7/25)

### ハイワード市ホームステイ 6 日目レポート

#### ★タイムスケジュール★

- 7 : 30 起床
- 8 : 00 朝食
- 8 : 30 学校へ
- 9 : 00 英会話 (Riki の最後の授業)
- 12 : 30 昼食(キャンパスで食べる最後の昼食)
- 13 : 20 シリコンバレーへ
- 16 : 00 学校へ
- 18 : 00 帰宅
- 19 : 00 Val 's で夕食
- 22 : 00 就寝

#### ★シリコンバレー訪問★

車でシリコンバレーに向かいました。まずフェイスブックの本社に行き、お馴染みのマークの前で1人ずつ写真撮影をしました。

次にグーグル本社へ行き、グーグルカラーの赤、黄色、青をあしらった自転車を見つけました。敷地内がとても広く、ちょうど広場のようなところで社員の人向けにタピオカが配られていました。またアンドロイドのキャラクターの置物があちらこちらにありました。敷地内にあるパラソルもすべてグーグルカラーになっていました。グーグル社で働く人々はアジア系の人も多くみられました。

最後にアップル本社の隣にあるアップルストアに行きました。日本より少し安いものもあり、私は迷ったあげく記念にスマホケースを買いました。

アップルストア内に、アップル本社の模型があり、タブレットで模型を見るとアップル本社のリアルタイムの映像が見ることができました。また隣にはカフェスペースがありました。



Google 本社の前で。



Riki と。

## ★六日目の感想★

この日は、Riki の英会話授業が最後でした。とても気さくで優しく面白い先生で日本ではあまり学ばない発音の仕方などを教えてくださりとても貴重な体験でした。もっと授業を受けたかったです。

シリコンバレーのことは中学の社会の授業で習っていたので訪問するのがとても楽しみでした。私の中では高いビルが密集しているイメージだったのですが、実際に訪れてみると広大な敷地にあまり高いビルはなくとてものびのびと仕事ができそうな環境だと思いました。

また多種多様な人種の方が働いていてアメリカは本当にたくさんの人たちが共存しているのだなと改めて感じることができました。なかなか訪れることのできないシリコンバレーに行くことができよかったです。

そして夕食はアライジャさんにお勧めされた Val 's に行きました。Val 's はハンバーガー屋さんで baby burger を食べました。もちろん baby burger でお腹はいっぱいになりました。

ジュースでとてもおいしかったです。お土産にステッカーをもらいました。

6 日目を終えどんどん帰国日が迫っていると思うと寂しくなりもう少し居たいなと思いました。

## 7日目 (7/26)

### 7日目のレポート

7日目は帰国前最後の日。4日間通い続けたイーストベイ校での修了書を受け取り、サンフランシスコに向かった。私たちがまず最初に向かったのはゴールデンゲートブリッジ。私たちが過ごしていた地域とは違い、風が冷たく肌寒く感じた。



ピア 39

念願だった各自のお土産を見る時間！



名物のクラムチャウダーもボリュームミーなパンとともにしっかり食べた。



サンフランシスコの有名なお土産であるガラデリチョコレートやシーキャンディーも見た。

## 最終日

この日は日本に帰国する日でした。私はこの日に食事やアクティビティー、人との関わりなど様々なことを思い返しました。

食事は毎日ホストファミリーと一緒に食べることができました。朝ごはんは必ず配膳を手伝っていました。私はアメリカのご飯は味付けの濃くボリュームミーなのかと思っていましたが、大皿で出てきて自分でよそったり、ソースや塩は各自でかけたりしていて、自分で調節でき、想像と違って驚きました。



また、休日にはホストファミリーとアシカを見に行ったり、Santa cruz beach board walk にいきました。ここは遊園地とビーチが隣接しているレジャー施設で、両方に簡単に行き来することができ、このような所は日本では見たことがなかったので驚いたし、とても楽しかったです。さらにこのようなところでは、注意喚起や案内放送、動物や乗り物の説明もすべて英語だったので、今まで以上に英語に触れることができました。



私はこのプログラムで日本にいた時に聞いていた常識が、アメリカに行って覆されたり、新しいことを学ぶことができました。そのため私は改めて、「百聞は一見にしかず」ということはこのようなことなんだなと実感できました。

これらの体験を現地でさせてくれたホストファミリーにはとても感謝しています。1週間という短い間でしたが、別れ



が寂しく感じました。また、この機会を通して他校の友達を作ることができたり、外国人との関わりが生まれたことが嬉しかったです。これからもこの関係をより深めていきたいです。そしてこのアメリカ留学をきっかけに別の国にも訪れて、日本やアメリカ以外の沢山の国の文化を知ってみたいです。



## Day 2 July 21

### 朝ごはん



朝食はココアとホットケーキでした。  
ホットケーキは  
パイナップル入りのオリジナルレシピで  
とても美味しかったです。

ココアを頂いたカップは  
ホストファザーの**手作り**で、  
最終日にはなんとそのカップをお土産と  
して  
プレゼントしてくれました！



庭を探索していると、  
野生のシカやハチドリに  
会うことができました♪



# Mt.Diablo

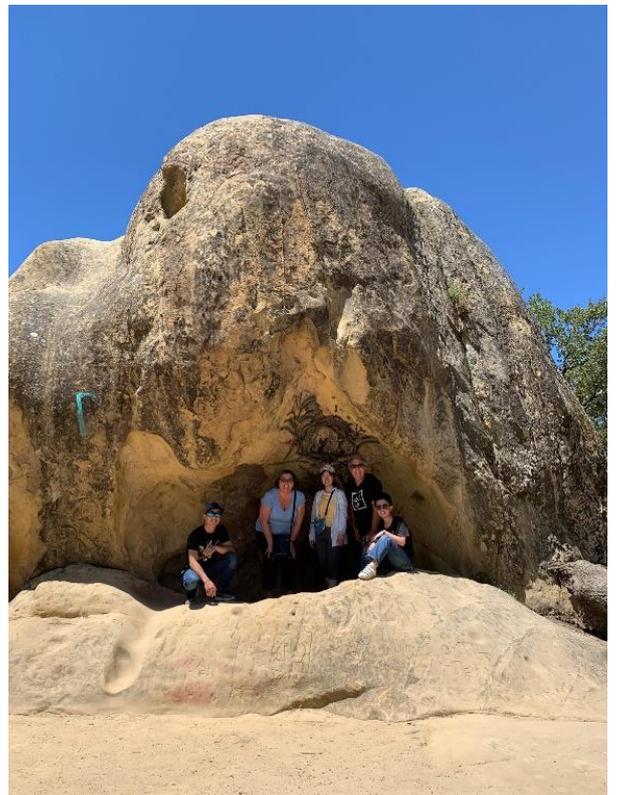
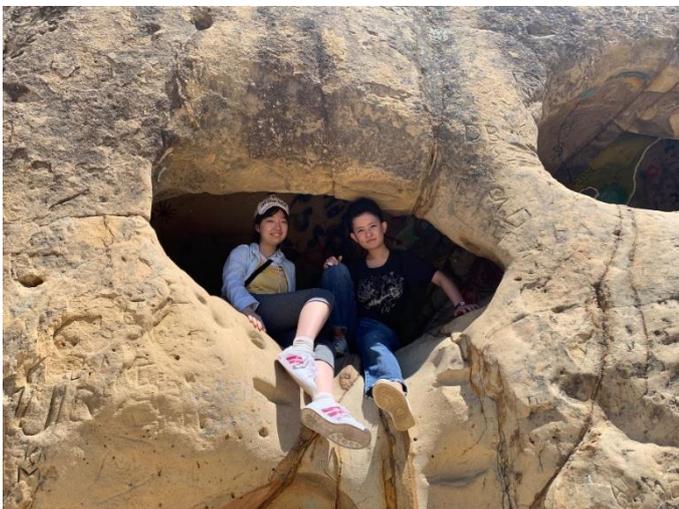
午前中はディアブロ山に車で登りました。  
ディアブロ山の高さを聞いた際、フィートとメートルを勘違いしてしまい、  
アメリカと日本の単位の違いを改めて実感しました。  
他にもポンド、オンスなどアメリカの単位の慣れることは難しかったです。

頂上からはサンフランシスコベイエリアを一望でき、圧巻の景色でした。空気の澄んだ気持ちの良い快晴で、とても遠くまで見渡すことができました。

また、野生のリスにも出会うことができました。今まで野生では見たことがなかったので、本当に嬉しかったです。



その後 頂上から少し下り、**風穴(wind cave)**へ行きました。ホストファザーに手伝ってもらい、風穴に登ったことは、とても貴重な体験になりました。



# ショッピングセンター

**Blackhawk Plaza** というショッピングセンター

を訪れました。

日本とはだいぶ雰囲気の違い、入り口はホテルのように天井の高い造りで、中庭には噴水や沢山のオブジェが設置されていました。

昼食は **Beep's Burgers** というハンバーガー

ショップに行きました。硬水に体が慣れていなかったため、残念ながら数口しか食べられませんでした。



# 夜ごはん



夜は庭のテラスで食べました。

キャンドルやライトを灯し、とても幻想的な雰囲気でした。

メニューは、ご飯にとんかつ、サラダやコーンと、和食に近いものでした。

庭で採れた新鮮なレモンを、とんかつにかけて頂いたのがとても美味しかったです。



2日目は豊かな自然に恵まれたヘイワードの街とそこに暮らす大らかで気さくな方々に多く触れることができました。

ホストファミリーは

初めての海外で緊張していた私を

家族の一員のように迎え入れ、優しく接して下さいました。

## 2日目（江草 愛菜）

HAYWARD 研修 2日目

朝起きたらホストファミリーのお姉さんが来ていました！

<今日はホストファミリーとお出かけ>



HAYWARD 市内にある日本庭園に来ました。  
船橋市との関係が記されている石碑も見ることができました。



そのあとに SAN FRANCISCO に車で行了きました！



有名な坂を車でおりました。とても道がくねくねしていて、歩道にも多くの観光客の方もいらっしゃいました。街並みには統一感があってとても素敵でした！車でゴールデンゲートブリッジもわたりました。天気は曇っていて、上まではっきりとは見えなかったのですが、多くの人が出ていて、歩いている人もいれば、自転車でサイクリングをしているひともいました。

帰りに PIER39 で夜ご飯を食べました！

私はサラダを食べましたが、そこではクラムチャウダーが有名なようで、ホストファミリーはクラムチャウダーを食べていました。一口もらったのですがとても美味しかったので、是非食べてほしいです

ずっと車に乗っていて少し大変でしたがとても楽しい一日でした！大人になったら絶対ここにきたいです！

2日目

到着してすぐに寝てしまったせいか、夜はほとんど眠れなかったけど僕たちのホームステイ先のチェン家では2日目にサンフランシスコ観光へいきました。

サンフランシスコはとても涼しくてすごしやすかったですが、日差しがとても強く着いて一番に入った、ディズニー映画の『ベイマックス』で出てくるヒロの家のモデルとなったお店で、サングラスを買いました。

そしてサンフランシスコといえば、おしゃれなケーブルカー。今回乗ることはでなかったので写真だけ。



その後、サンフランシスコの、ダウンタウンにいき、『NIKE STORE』や『ユニオンスクエア』に行き買い物を楽しんできました。ハイワードにはない、おしゃれな高層ビルが建ち並んでいて圧倒されました。

NIKE STORE  
みんなで Take a photo!

ホストファミリーの家に帰って一休みしたらホストブラザーの KAI が運転する車で近くの公園にあるバスケットコートに行きました。アメリカでは、16歳から運転免許を取れると聞き驚きました。一緒に行った小田原君も、KAI もすごく上手で、バスケット未経験の自分じゃ本当に相手にならなくて悔しかったです。初めて遊びの中でバスケットをしてすごく有意義な時間を過ごす事ができました。



そして、夕食を食べた後、ホストファザーがテレビでサッカーを見せてくれました。普段ほとんど話せない自分ですが、ホストファザーと少しだけサッカーのことが話せてスポーツに言語は関係ないなと感じました。

すごく充実して楽しい一日になりました！！

## ヘイワード海外研修 2日目 レポート

### 1 穏やかな朝

その前日はフライトや音楽フェスティバル、さらに慣れない英語で体も頭も疲れ切っていたので朝の9時まで熟睡。リビングに行くとすでにホストファザーの Joe が起きており、朝食としてシナモンロールとパイナップルの練りこまれたパンケーキを用意してくれた。また Joe は陶芸が趣味のひとつで、手作りしたという2つのマグカップを見せて、それらにココアを入れてくれた。2つは一見同じに見えるがよく見ると、形や色、光沢加減も違う。ちなみに横に広く、丸みを帯びている方が有田さん、若干縦に長い方が私のだ。のちこのマグカップは帰国前日にサプライズプレゼントとしてくれた。まだこのときはプレゼントしてくれると思っていたのでもうれしかった。朝から英語を話せること、海外らしい朝食にキレイな庭の景色、本当に贅沢な朝の時間を過ごした。

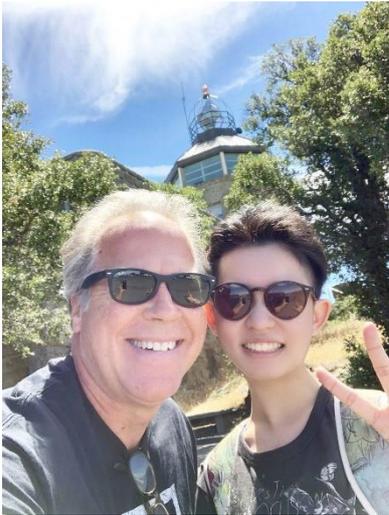


### 2 大自然に囲まれて

10時頃、車に乗り込み、このあたりで有名だという Diablo 山に行った。そこまでの道は山に挟まれたまっすぐで幅の大きい車道。山に前にその麓にある高級住宅街を見て回った。見ると大きなプールやキレイな芝生が当たり前のように並んでいて、あっけにとられてしまった。まるで海外ドラマに出てくるような大きな家にうらやましくなった。

山道を車で登っていく最中、崖の淵ギリギリを走行するように運転する Joe にホストマザーの Julie が怒って文句を言っていた。統太はいつものことだと笑っていた。彩音ちゃんは昨日の疲れからか眠そうにしていた。

頂上に着くと太陽が近いからか日差しが痛く感じた。頂上には動物のはく製やシカの角などの展示をしている博物館があった。一通り見て回ると今度は大きな方位磁針の石がある灯台のような建物に入った。ぐらりと見回すと窓の縁にコインがあるのを見つけたので Joe に聞いてみると下の階段から窓の縁に乘せるように投げてうまくいくといいことがあるのだとか。私はやってみることにしたがなかなかうまく乗らなかった。5回くらい挑戦してやっと成功した。とてもうれしかった。彩音ちゃんは私がいないうちに野生のリスを見た



いう。私も見たかったなと思った。

少し山を下りて今度は風化した大きな岩があるエリアに向かった。その岩には文字が書かれていたり、大きな穴が開いていたりしていて、おもしろかった。文字はどうかや観光客が名前を削って書いていたようだった。私は一番大きくて高さのある岩に登った。命綱もないので少し怖かったが、登ると絶景に囲まれて気持ち良かった。Joeも登って写真を撮ってくれた。日本ではなかなか経験できないことだなと思った。



### 3 変わったショッピングモール

山を下りて、次は Black Plaza というモールに行きました。外見はホテルのような感じ。Joeにホテルみたいだねと言ったら、お金持ちが来るモールだよと教えてくれた。外には長い川があり、物語をモチーフにした銅像や原寸大の動物のモニュメントがあった。まるで本物みたいだった。そこでハンバーガーショップに入り、5人で食べた。今ではびっくりするくらい会話が弾んだ記憶がある。本当に充実した一日になった。



## Day2

私たちは前日の夜にホストファミリーの双子のスイミングプールのパーティーに参加していて夜寝るのが遅かったため少し遅めまで寝かせてもらい、九時頃に起床し朝ごはんを食べました。



朝ごはんを食べたあと、船に乗ってサンフランシスコに連れて行ってもらいました。



サンフランシスコでは街を案内してもらい、急斜面の坂やケーブルカーを見せてもらったり、街で踊ってる人と写真を撮らせてもらったりしました。



そのあと、PIER39 に連れて行ってもらい、みんなでお昼ご飯を食べました。私と同室の白石さんとホストファミリーの双子の男の子はハンバーガーを、双子の女の子はパンに入ったクラムチャウダーをホストマザーはサラダを食べました。ハンバーガーはマックのハンバーガーの3~4倍くらいありました。

食べきることは出来ずお持ち帰りしましたが、とても美味しか



ったです。

夜は日本から持ってきたお土産を渡してみんなで折り紙を折りました。鶴や手裏剣などの折り方をおしえました。ホームステイ先の双子の女の子が折り紙が大好きですごく喜んでもらえました。



日本ではできないような体験を沢山させてもらえて本当に楽しかったです。

林 千紗季

## 2日目（西村 実莉）

### 事後報告書

～高校生国際交流派遣事業に参加して～

#### ○2日目 ホストファミリーとの交流

期待と不安を膨らませて日本を発ってから1日。時差ボケにも悩まされることなく、2日目を迎えた。前日に私たちの観光場所をホストファミリーと一緒に探して決めたので、とても楽しみにしていた。また、私たちが楽しめる且つその後の予定で行かない場所を探してくれたホストファミリーの優しさを初日早々に感じた。私たちのホストファミリーは2人のご夫婦で私にとっておじいちゃんおばあちゃんのような存在だった。

2日目の朝。目を覚まし、キッチンに向かうと朝食の準備をご夫婦がし始めていた。私たちもスクランブルエッグを作ったり、果物を切ったりして準備を手伝った。そして、アメ



リカに来て初の朝食！シリアルばかりの朝食を予想していたが、予想とは裏腹にパンや果物が並ぶ素敵な朝食でとても美味しかった。

朝食を食べ終え、準備をした後私たちは第1の目的地である「ano nuevo state park」という場所に野生のアシカを見に行った。野生のアシカを直で見るなんてことは日本では滅多にできない事なので、とても貴重で印象的な体験だった。

公園の近くでピクニックをしてから第2の目的地、「Santacruz」へ向かった。そこには、ショッピングモール、海、遊園地が揃っていた。私たちはその光景を目にしただけで、気



分が上がり終始ハイテンションだった。お土産を見たり、海では沢山の写真を撮り、遊園地ではジェットコースターに乗り、とても充実した楽しい時間だった。

家に帰宅し、夕食を食べ終えてから就寝するまでの時間に私たちは英字新聞を使用して



スマホケースを作った。おしゃれで可愛くて、帰国後も愛用している思い出の品になった

ホストファミリーと過ごす時間は会話が通じるか、不安ばかりが募っていたが実際に過ごしてみると拙い英語でもジェスチャーや表情でコミュニケーションをとることで互いに

通じ合うことができて、嬉しかった。単語力の重要性に改めて気付いたのでこれからの英語の勉強で意識していきたい。また、このホームステイ中スピーキング力だけでなく、リスニング力も身に付けられたと感じる、有意義なものだった。

## 【San Francisco】

7月21日

2日目はホストファミリーとの交流日だった。自分はサンフランシスコ観光をした。朝食のクロワッサンを急いで口に放り、ホストマザー、ファザーと二人の息子 Kai、そしてルームメイトの颯太と共に、車でサンフランシスコへと向かった。

まずはじめに訪れたのは、「フィッシャーマンズワーフ」だ。ゴールドラッシュ以来から今もなお、漁業が行われている有名な観光地だ。特産品である、クラムチャウダーを昼食に食べる予定だったが、アメリカ到着以来殆ど、アジア料理しか食べていなかった自分達はハンバーガーのチェーン店、「In-N-Out」へと駆けこんだ。カリフォルニア州では有名なチェーン店だそうだが、



(「In-N-Out」にて)

無論日本には無いため楽しみにしていると、期待を裏切らない大きさのドリンクカップとハンバーガーが出て来た。味付けも濃く、とても美味しかった。

その後、「GHIRADELLI CHOCOLATE」などのお土産を買い、サンフランシスコダウンタウンの中心である、「ユニオンスクエア」へと向かった。ユニオンスクエア周辺には、多くの有名ブランドの店舗やショッピングモー

ルが点在した。「GUESS」に「NIKE」、「adidas」

と高額な物や、限定品を購入したわけではないが、現地の買い物の仕方や雰囲気を楽しむ事が出来た。また、ルームメイトの颯太がキーパーグローブを探し求め、何軒もスポーツショップをまわるのにつき合わされたのも、今ではいい思い出。買い物も一通り終わり帰路に着くと、自分と颯太は疲れから、早々と寝てしまったのを覚えている。



(車内からのダウンタウン)



(NIKE ショップにて)

家に帰ると、自分達は Kai に運転してもらいバスケットボールコートへと向かった。Kai は自分と一つしか年



(バスケットボールコート)

齢は変わらないが、自動車を運転する姿はとても大人っぽく、自分も早く免許を取りたいと思った。コートに着くと自分達以外は居らず、バスケットボール好きな自分は少し落胆したが、三人でのゲームが面白く、終えて帰る頃には満足した気持ちで一杯であった。

再び家に帰ると、自分達は昨晚の残りの中華料理を食べ、リビングでホストファミリーと共に時間を過ごした。大きな観光地以外にも、ホストファミリーにたくさんのお店に連れて行ってもらい、コミュニケーションを取ることができ、今後の生活への不安が解消された良い一日だった。

## 2日目（白石 亜実）

### 2日目のレポート

2日目はホストファミリーにフェリーでピア 39の方へ連れて行ってもらった。  
後で皆と行くことはないだろう、と坂を上り絶景を見せてくれた。



その後フェリーでヘイワードに戻りホストファミリーのおばあちゃんの家に向かい、  
おばあちゃんの誕生日会をし、おばあちゃん手作りの美味しいご飯を食べた。



13 歳の男女の双子、アリソンとジョッシュともトランプやウノをしたり、たくさん会話をしたりして、仲良くなることが出来た。



ピア 39 で食べたハンバーガーの大きさに驚いた。

#### 感想

ホストファミリーとこの 10 人そして、このプロジェクトに関わってくれた全ての皆さんに感謝しています。

出発前は不安も大きかったのですが、帰国後は行ってよかったと心から思うことが出来ました、

そして、行く前に申し上げた通り大切なのはこの後の活動だと思います。

態度で感謝を示せるよう全力で取り組んでいきます。

これからもよろしくお願いいたします。

## 2日目（富永 そら）

### 2日目

2日目は Ano Nuevo Coast Natural Preserve と Santa cruz beach board walk に行きました。

Ano Nuevo Coast Natural Preserve は野生のアシカを見ることができる場所で、私たちの近くからは15匹ほどの大きなアシカを見ることができました。また沖の方に小さな島があり、自分がいる場所から双眼鏡を覗くと、そこには沢山のアシカがいました。そのおかげで周辺はずっとアシカの鳴き声が聞こえていました。そしてこの公園でお昼ご飯を食べました。外でサンドイッチを食べたのですが、日本とは違った空気を楽しみながら食べるので、とても新鮮でした。



Santa cruz beach board walk は海と遊園地とショッピング施設が一体となった場所で、日本ではない感覚を味わうことができました。ここではジェット



コースターに乗りました。日本のジェットコースターとはスピード速く、海風もあったので、スリル満天でした。この場所でドーナツ屋を見つけたのですが、ここのドーナツは人の顔ぐらいある大きさで、とてもびっくりしました。アメリカサイズという言葉の意味をあらためて知った気がします。



隣接している海に行ったところ、いたる所でビーチバレーをしていました。日本ではなかなか見ない光景だったのでとても面白かったです。またここの砂浜は日本とは違って貝殻が比較的少なく、日本では裸足で歩くと足の裏が切れそうで心配なのに、アメリカはあまり心配をせず歩くことができました。でもなぜ同じ太平洋に面しているのに、貝殻があまりない砂浜かと疑問に思いました。



## 2日目(鵜飼 ひかる)

### ヘイワード市ホームステイ 2日目レポート

鵜飼 ひかる

◎2日目は疲れもあったのか10:00頃に起床しました。ホームマザーのジータとジータのお姉さん、愛菜ちゃん、私の四人で出かけました。

まず日本庭園に連れて行ってもらいました。アメリカにいるのに目の前には日本と似た風景が広がっているのが不思議な感じでした。そこには船橋市とヘイワード市の姉妹都市提携7周年の記念碑がありました。

日本庭園にはたくさんのアメリカの方がいて、なんだか誇らしくなりました。



そしてサンフランシスコに移動しました。車でゴールデンゲートブリッジを通りました。ヘイワードとは違い、人も多く都会だなと感じました。Pier39のフィッシャーマンズワーフでお昼を食べました。私はサーモンのハンバーガーを注文しました。すごく大きく食べることができなかったので持ち帰りました。アメリカのレストランは料理を持ち帰ることができるお店が多く、便利だなと思いました。



ジータの腰が悪くあまり歩き回ったりできなかったのでいろんなお店を見ることができなかつたですが船橋市とのつながりを見ることができただけでなく有名な都市のサンフランシスコにも連れて行ってもらえてよかつたです。